

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス さんらいず		
○保護者評価実施期間	令和7年11月1日	～	令和7年12月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)
○従業員評価実施期間	令和8年1月16日	～	令和8年2月10日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年3月23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われれること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人ひとりの発達に応じた支援を検討し、日々の活動に取り入れながら支援を行っている。	一人ひとりの行動(出来事等)を全職員で共有して、支援の方法などを検討している。また、利用している学校・保育所・相談支援事業所・関係機関と情報交換を行い、より良い支援方法について検討している。	さらにご家族、学校、相談支援事業所と、日々連絡を密に行いながら、連携して統一した支援が行えるようにしていく。
2	近隣の福祉施設との交流、公共施設の利用なども多様な環境となった。このため児童発達支援・放課後等デイサービス共に施設内だけの活動にとどまらず活動範囲を広げ、他の福祉施設との交流を楽しんだり、町の体育館で伸び伸びと活動したりすることができている。	町の体育館を雇用して活動したり、近隣の幼稚園で行われているキッズクラブに参加したり、子どもセンターでの行事に参加したりと、交流の場を広げている。	近隣の施設で行われている行事等に積極的に参加して、地域との交流を深めるようにしていく。
3	利用者本人の体調や様子などをご家族とLINE等で情報共有を図っている。	事業所での様子などは、連絡帳や送迎の際に報告している。さらに、活動の様子をLINEで送り密な連絡が図れるようにしている。	利用者の様子だけでなく、講演会や催し等の情報を発信するなど、より広範囲な情報を提供していきたい。

	事業所の弱み(※) だと思われれること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ご家族間の交流の場が少ない。	ミニ運動会(児童発達支援)、いちご狩り(児童発達支援、放課後等デイサービス)などの行事の時にご家族の交流を進めているが、ご家族が一同に会って話し合うような計画が困難な状況。	来年度は、保護者合同の行事などを計画している。少しでも保護者の方々が一堂に会える機会を際していく。
2	ペアレント・トレーニングなどの研修会などの取組が提供できていない。	事業所開所時にペアレント・トレーニングの講演会を実施したが、それが随実施していない。	研修会の情報提供があった際、保護者が受講可能な研修を確認し、箕科市やさんらいずに掲示するなどして研修の提供に努力する。
3			

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表

事業所名	放課後等デイサービス さんらいず
------	------------------

公表日 令和 8年 3月 23日

利用児童数 4

回収数 4

チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3	1			少し建物の中が狭いかなどはありますが、子どもたちが目が届く範囲かなとは思いますが、子どもたちには1対2~3人という時もあるので、何もいえませんが、手助けが必要な子には少ないのかもしれない。少ない人数で忙しくされて、職員の方には本当に感謝です	利用者さん4名に対して担当1名補助1.2名は計画して対応しています。安全に配慮しながらお子さんの目標に添った支援に努めております。
2 職員の配置数は適切だと思いますか。	2			2		
3 生活空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3			1		
4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4					
5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4					
6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3			1		相談事業所より出されたサービス等利用計画書を基に、本事業所にて支援計画書を作成し、適切な支援を指ししております。
7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4					
8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4					
9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4					
10 事業所の活動プログラムが固定されないよう工夫されていると思いますか。	4					
11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域でのこどもと活動する機会がありますか。	2			2		活動の中で認定こども園主催の活動や子どもセンター交流館等（山元、坂元、岩沼）を利用し、利用者さんの実態に添って、交流可能な活動を実施しております。
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4					
13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4					
14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	2			何かあったら情報がいただけたらありがたいです	研修会の情報提供があった際、保護者受講可能な研修を確認してあります。あまり多くはありませんが、受講可能な研修は資料配布やさんらいずに掲載致しますのでご覧下さい。
15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	4					
16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4					
17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4					
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		1	1	2	個人情報関係もあると思いますが、年1回家族交流会みたいなものがあると楽しそうです	来年度秋に親子ぽっちゃん大会及び保護者会を実施したいと計画しております。少しでも多くの保護者の方々が一堂に会する機会を採って参りますので、ご理解ご協力をよろしくお願い致します。

環境・体制整備

適切な支援の提供

保護者への説明等

19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3	1			
20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4				
21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	3	1			ホームページにつきましては、さんらいず通信下部にあるQRコードからもご覧いただけます。また「さんらいず山元」でもHPを開くことが出来ますのでご覧下さい。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4				
23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4				
24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4				
25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4				
26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4				
27	こどもは安心感をもって通所していますか。	4				
28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	4				
29	事業所の支援に満足していますか。	4				大満足です いつもありがとうございます
非常時等の対応						
満足度						

事業所名	放課後等デイサービス さんらいず					公表日	令和 8年 3月23日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室との関係で適切であるか。	6		間仕切りをはずすなどして、スペースの確保をしている。			
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		子どもたちにわかりやすいかは、不明だが使いやすいようにしている。少しずつバリアを減らしていると思う。			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	危険と思われる箇所を取り外したり、保護するなど対策を講じ、職員間の情報共有もされている。 ガラスのある扉を外し、危険の無いようにして必要な場所には、ロールカーテンを使用するようにしている。	今後も利用者の安全・安心が保てるように環境整備を行っていく。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6					
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6					
	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6					
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		年2回面談やその他の場面で意向は聞いている。改善方向の努力していると思う。			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6					
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5		今後、外部評価は、必要と感じているが予算的な面で評価を受けるまでに至っていない。経営状況を見ながら第三者評価を受け業務改善につなげていく。		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		以前より研修に参加する機会が増えてとても勉強になっている。			
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6					
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6					
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6					
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6					
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		契約時に保護者や関係者に聞き取り記入している。	年度毎、保護者とアセスメントを確認しながら支援を進めていく。		
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6					
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6					
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			保育士で計画を立てているが活動がかたまらないように曜日に分けて計画を進めていきたい。		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6					
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6					
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6					

22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
23	定期的にもニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			
28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	2		
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	1		こどもセンターやキッズクラブに参加して交流する機会が多い。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			興味のある保護者さんに情報提供している。
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に対応し、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			
39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだいたい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	4		来年度は、保護者合同の行事などを計画している。少しでも保護者の方々が一堂に会せる機会を探っていく。来年度秋に親子ポッチャ大会及び保護者会を実施したいと計画しております。少しでも多くの保護者の方々が一堂に会せる機会を探って参ります。
40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	1		
41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6			
42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	1		
43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2		行事での招待は計画していないが、諸行事で近隣の事業者や施設を利用して近隣の方々と交流を図っている。

関係機関や保護者との連携

保護者への説明等

非常時等の対応							
45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6					
46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6					
47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6					
48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6					
49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6					
50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1				
51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6					
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	1				
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	1				